

公式試合記録

記録者名	本田 達也		主審署名欄	戸島立品		運営責任者	原 雄二	
大会名	令和5年度 第102回全国高等学校サッカー選手権富山県大会			準決勝	2023/11/3 13:30 開始	競技時間	80分 延長 分	観衆 約 600 名
会場	高岡スポーツコア サッカー・ラグビー場	天候	晴れ	風	微風	状態	天然芝・乾燥	審判 主審 戸島 立品 副審 朝倉 優太 副審 深川 雄也 第4審判 鷺尾 拓実

kick off	チーム名	0	}	1	チーム名	kick off
延長 kick off	富山工業高等学校	0		延長 PK	富山北部高等学校	延長 kick off

交代時間	シュート(得点)				学年	選手名	背番号	位置	背番号	選手名	学年	シュート(得点)				交代時間
	延後	延前	後半	前半								前半	後半	延前	延後	
分					3	池田 時丸	1	GK	1	町田 陽映	3					分
77分					3	小川 祐太	2	DF	2	東川 颯汰	3					67分
62分					3	稲場 悠太	3	DF	4	大村 悠太	2					分
分					3	川西 優希	4	DF	5	中村 龍之介	2					分
分			1	1	2	坂端 凌空	5	DF	18	平蔵 大和	3					分
分					2	温井 康生	6	MF	6	山本 瑛太	3					分
分					2	片岡 勇人	8	MF	7	中井 幹也	2					分
分			1	1	3	細川 奎司	10	MF	8	川端 隼斗	3					分
分					3	島倉 和希	11	MF	9	新庄 優輝	3					67分
62分					3	若宮 伊吹	7	FW	30	中島 澄也	2	1	1			分
分					3	勝山 歩舞	9	FW	11	笠原 光晟	3		0	1		80+5分
分					3	永井 優哉	12	交代要員	3	向出 篤生	3					分
3分					3	二橋 琢磨	13		10	松村 幸紀	3					分
分					3	柴田 大輝	14		12	橋本 顕悠	2					分
分					3	天野 翠翔	15		13	今家 優志	3					分
分					3	長谷川 昂	16		14	本田 海人	3					分 9
2分					2	表寺 将英	17		16	小柴 誠太郎	3					分 2
分					2	高松 倅聖	19		17	谷口 慶樹	2					分 11
分					3	田村 幸誠	22		22	野尻 虎太郎	3					分
7分					2	寺田 晟吾	26		25	松崎 瑛太	2					分

				2	2	小計	4	合計	3	小計	1	2				
No.	氏名	事由	計	延後	延前	後半	前半		前半	後半	延前	延後	計	No.	氏名	事由
			9			4	5	GK	4	4			8	5	寺田 晟吾	ラブ
			2			1	1	CK	1	2			3			
			9	8		6	2	直接FK	2	5			7			
			1			1	0	間接FK	0	0			0			
			0			0	0	PK	0	0			0			

得点経過	得点時間	得点チーム	得点者名	アシスト者名	得点状況(略号例:ドリブル~, グロー~, 浮き球~, 混戦X, ヘディングH, シュートS)
80+1分	富山北部	笠原 光晟	本田 海人	右2⑩↑中央1⑩左足S	
分					
分					
分					
分					

戦評者氏名 【 和田 高汰 】 (フルネームを記入) 勤務先又は所属 【 不二越工業高等学校 】

晴天の中行われた準決勝第2試合は、富山工業高等学校と富山北部高等学校が対戦した。富山工業のシステムは1-4-2-3-1、対する富山北部のシステムは1-4-4-2で臨んだ。両チームともに序盤はリスクを背負わず、後方からのロングボールを多用し、相手陣でセカンドボールを拾い、チャンスを作ろうとする展開が続く。富山工業は追い風を活かし、DF⑤坂端、MF⑩細川のロングシュートによって立て続けに決定機を作り出す。富山北部はDFラインでの組み立てにMF⑦中井が加わることで徐々にリズムを作り始め、MF⑩中島やFW⑩笠原にボールを集めてチャンスを狙う。膠着状態が続いたまま両チームともに決定的なチャンスを作り出せないまま前半戦が終了した。後半追い風に立った富山北部は左サイドハーフの中島とMF登録の左サイドバック⑧川端のコンビネーションから攻撃を組み立てようと試みる。富山工業はFW登録の⑩寺田を右サイドハーフ、DF③二橋を投入し、攻撃を活性化させる。対する富山北部はMF⑭本田を右サイドハーフ、FWに⑩小柴を投入し、チャンスを狙う。80+1分、富山北部は本田の右サイドからの浮き球のスループパスに抜け出した笠原が冷静にループシュートを沈め、先制する。中盤での激しい攻防を制し、攻撃を展開しようとする両チームの対戦であったが、少ないチャンスを活かした富山北部が勝利し、決勝戦へと駒を進めた。